

新年のご挨拶

東京都製紙原料協同組合

理事長 皆川 昇

新年明けましておめでとうございます。

平成十九年の新春を迎えて、昨年中の当組合の運営に当り、組合員の皆様はじめ関係各位の格別なるご支援、協力を賜り、大過なく越年出来ました事に對し、心より厚く御礼を申し上げます。

小泉首相の総裁任期終了の後を受けて発足した安倍内閣も、引続きの構造改革を旗印に掲げてのスタートを致しましたが、早くも難問山積の混迷をマスコミ等で目にし耳にしますが、政治の世界のような国家的大問題は別に致しませんが、当古紙業界の越年業況は更なる混迷の中に在ると言くと、年初からお叱りを頂戴することになるのでしょうか？

昨年を思いおこしてみますと、2年以上に亘り全く動きの無かった新聞古紙等の国内メーカー購入価格が、年初からやっと反転し出したものの、古紙センターの古紙融通事業の休止にも見られたごとく、輸出価格との乖離が月を追うごとに開くような状況が現出、その上DIPも含めた増設を決めた国内メーカーの古紙消費増量の方向が明確化した事もあって、玉確保からのプレミア価格云々も取りざたされた為、従前の古紙価格設定に比べ極めて不透明感が増し、

引きずられる様な形で産業古紙等に対しても多少の値戻しが実現されるようになりましたが、上古古紙についても同様に価格の不透明さがついてまわるようになりました。

WTOに加盟して満5年、それ迄眠っていた怪獣中国が助走期間を終えいよいよ本格的に動き出します。我が古紙業界はこの助走期間中も否応ない変革の波が起りました。ましてや今後の動き方次第で第二、第三の大波が起る事は必然の事に思われます。この波を予想しての国内製紙メーカー側の対抗策が活発化し、当業界の混迷に一層拍車がかかっている業況と思っております。

既に十年前となりましたが当業界上げての決起大会を不思議な感覚で想い出していますが、過去を振り返る様では、これから直面していかなければならない変革の波を乗り切っては行けません。集直一体を標榜している当組合員の皆様に於かれましては、回収集荷の面、又販売等の面に於いても、本格的な変革の波はこれから本番との認識を強く持つて頂いて、新しい年にチャレンジして行こうで

はありませんか。今年も組合員皆様の事業経営に微力ではあっても寄与出来るよう、組合運営に取組む努力は惜しまぬつもりです。

本年が皆様にとり良き年となりますよう、ご健勝とご繁栄を祈念申し上げますと共に、尚変わぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶

東京都製紙原料協同組合

副理事長 近 藤 勝

明けましておめでとうございます。昨年末には西武の松坂投手が60億円という破格な契約金でレッドソックスに入団しました。大リーグは夢でなく目標だったという彼の言葉がとても印象的でいると考えると考えさせられました。大リーグやオリンピックでの日本人の活躍ぶり、そして一方では国技である相撲、柔道、剣道などの国際化など日本は本当に大きく変化しています。

経済面でも昔よく言われていたように今まで10年かかった変化が正に1年刻みで経過しています。今年の干支は亥年で昔から波乱の年と言われているそうです。亥年生まれの方には迷惑な言い伝えに違いありませんが、十二子の中の最後の干支で次の新しい時代に突入する大きなきっかけとなる出来事が起こるのでしょうか。

古紙価格も今年は忙しくなりそうです。是非とも製紙メーカーさん、特に家庭紙メーカーさんには世界一安い製品価格の修正をしっかりと勝ち取って頂きたいと思っています。本年も何が起るかわかりません。組合活動を通してお互い情報交換を密に取りながら良い年にして行きましょう。本年もどうぞ宜しく、お願い致します。

新年のご挨拶

東京都製紙原料協同組合

副理事長 坂田 秀一郎

平成19年の新春を寿ぎ明けてお芽出とう御座居ます。昨年は組合員の皆様のご心づかいのおかげで、今年も同様に森林資源の乱開発や二酸化炭素の放出量が極めて高い水準となり世界の気象が地球規模で悪い方向へ推移して行っていると云っても過言ではありません。日本でも昨年、梅雨前線が温暖化で異常に発達し家屋の倒壊等が発生。北海道のサロマ町では竜巻が発生、多数の死者が出ました。この様な事態は未曾有の出来事であり考えられない危機的な状況を呈しております。これらを踏まえて我々一人ひとりが資源や生活環境を深く考慮してムダを省いて行く事が肝要である。私共が毎日取り扱っている古紙も日本をターゲットとして諸外国から毎日色々な型で年間、何百万トンと製品と共に入ってくるので相当量を輸出しなければタイトになりません。昨今は近代化を図る中国が驚異的な成長を見せており製紙原料業者は輸出に力を注いでいます。その輸出した古紙は包装用製品となり日本へ投げ返されます。このような状況下で古紙価格は低価格に押えられています。

組合員の90%以上の集荷業者は、利潤が非

常に乏しい状況となっております。生かさず殺さず、政策に巻き込まれている現状となっております。製紙メーカーは一段と寡占代に注力して我々業界の押さえ込みに入っており大間屋を買収しています。

我々、集荷サイドの頼みの綱の間屋が個々にバラバラであれば製紙メーカーの強力な圧力が増幅して益々、危機的状況下に置かれてまいります。問屋サイドに於かれましては、集荷業者の後継者問題も深刻化しており集荷業者の芽を摘み取らないよう一層の御甚力を切にお願いする事を願っております。新春草々から堅い御挨拶となりましたが、どうかよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

東京返本加工協同組合

理事長 藤井 康夫

新年あけましておめでとございます。

平成19年の新春を迎え、東京都製紙原料協同組合並びに東京返本加工協同組合の組合員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東京返本加工協同組合（略称TOM）は設立40周年の祝賀会を昨年2月、多数の関係各位のご出席のもと開催させて頂きました、今日ま

で組合発展のためにご尽力頂きました先輩諸氏並びに組合運営に多大なご指導ご鞭撻を頂戴致しました皆さまに改めて感謝申し上げます。と存じます。

TOMは第41期（18年6月30日期末）の取扱高が7億8千万円となりました、プレス加工分野の堅実な伸長が大きな基盤となっております。又、共同販売事業においても輸出事業の拡大・充実は組合員各社の財務面強化に貢献させて頂いておるとの認識でございます。

賛助会員社であります出版共同流通(株)様との連携での書籍古紙化推進は昨年12月末の時点で約60社となり、大きな柱事業として確立を目指しております。又、蓮田センター様での業務は本年5年目を迎える節目の年となります。そんな中であつて昨年の製紙業界は国内外とも綱引きに激化の様相を見せており、当組合の果たす使命も一層大きくなって来ているとの認識でございます。

TOMにおきましても役職員一同は知恵を出し合い更なる研鑽によりステップアップを目指して頑張る所存でございます、皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

中国（富陽・上海）視察記

（平成18年11月20日～11月23日）

今年の組合研修は、日本の古紙輸出の9割を占める中国となりました。メンバーは（榊本光春商店鈴木事務を含め）14社16名。

11/20（月）

成田空港に集合して空路杭州空港に向かう。杭州空港は杭州郊外に出来た空港で、都心に向かうバスから見える民家は3階建て、4階建ての立派な家が並んでいた。この辺の農家は、お米は出来ない代わりに野菜や花を生産して豊かな農村だそう。町に近づくとも10階建て20階建ての新築マンションが多数現れた。中国は社会主義国だから土地は総て国有で、期間70年の借地。道路も素晴らしく整備され、二車線、三車線、四車線と完成していた。この辺のマンション値段は10万円/m²位とか。

有名な観光地を幾つか回った。まず靈隱寺を見学。紀元3世紀頃に出来た禪寺で、広い境内に大仏、四天王、羅漢さんなど極彩色の像が多数、巨大な建造物の中に納まっていた。次に行ったのは西湖。宋代以来多くの文人に愛された湖だが生憎の天気の為、湖畔で記念写真を撮っただけで退散した。最後に立ち寄ったのは六和塔。むかし洪水に苦しんでいた頃、村民の代表が川の主である龍に頼み込んで、洪水を鎮めてもらったのを記念して建てた八重塔だそう。

富陽（HUYONG）宿泊

11/21（火）

富陽古紙市場

朝5時に出発して富陽古紙市場を見学。ここは富春川に沿って中小製紙会社200～300社が集まっている地区で白板紙中心に製造している。照明がほとんど無い暗がりに、10トン車を中心とした多数のトラックが古紙を満載して各地から集まって来る（過積載の取締りを避け夜中に走る）。積んである古紙は殆どが手積みで、よくそこまで積んだと感心する位に積み上げ、それを上手にロープで縛りその上からシートをかけていた。段ボールが圧倒的に多く他には新聞、模造を見かけた。時間帯により取引品目が異なる為、我々は段ボールを多数見かけたのかも知れない。段ボールは白板紙の芯に使用する。段ボールのベラー物は1台目撃したが、他は昔の「亀の子」プレスの様な縦型プレスかバラ積みであった。ここの取扱量は1日4千tから5千tに上る。市場入口には2台の台費が設置してあり、そこで計量して運転手は駐車代（入場代）として積荷古紙重量でトンあたり5元（75円）支払い、それをメーカーが負担するようである。6時半には、その日の取引を終了する。価格は段ボールトン1,000元～1,200元（16.5～18円/kg）、ビニール台紙トン500元（7.5円/kg）、新聞トン1,600元（24円/kg）、模造類トン2,600

元～3,000元（39～45円/kg）。日本に較べてかなり高く感じるが、それでもこの古紙市場の相場は安いそう。集まっているトラックは回収業者自ら運転して来るのではなく月収2,000元程度（約30,000円）の雇われドライバーが運転している。メーカーとの交渉は業者が電話で行なうそうだが、女性バイヤーも市場で多数目撃された。成約するとトラックはそのまま製紙会社に向かい、即原料として使用される。

杭州奧菲斯衛生用品有限公司

一旦ホテルに帰って朝食後、トイレット紙メーカーの杭州奧菲斯衛生用品有限公司を訪問。ここは富陽地区最大の家庭紙メーカー（同地区の家庭紙メーカーは13社）であり、トイレットペーパーのほか生理用品や紙おむつなど全部で92種類を生産している。トイレットペーパーは、シングル、ダブルのほかトリプルまであった。日本のロール寸法が幅11.4cmに対し1cmから2cm狭い。OEM主体のメーカーで以前は生産量が月1,800トン（古紙使用量月2,200トン）あったが、水質汚染の問題で生産減を余儀なくされ、現在では生産量月800トン（古紙使用量月1,000トン）にまで落ち込んでいる。その為従業員も700名から250名に削減したとの事。マシンも小規模のものが11基あるが3基ほど止まっていた。OEM価格でトン7,000元。製品価格は1

ロールあたり120グラム物0.95元(14.3円)から180グラム物1.3元(19.5円)。以前はドイツ、日本から輸入した経験はあるが、原料は全て中国国内からの調達であり古紙市場からではなく業者から直納。購入価格はトン2,200元(2,800元)(33円)42円/kg)。歩留まりが悪く泥が出るコート物や脱墨や薬品処理が必要なオフィス系の物はやはり水処理の問題が影響し非常に嫌っている印象。従ってわが国から上見当など持ち込んでも売れる見込みなし。在庫は白いものが中心で特に繊維分の長い厚手のものが多かった。昨年の環境問題以降、多少高価でも水処理が楽な原料の使用へと方向転換しており、選別の人間が禁忌品の除去と色分けを中心に麻袋に詰める作業をしていた。仕込み時に袋単位で配合を調整しているようだった。賃金は出来高払で月800元(1,000元)。雇用確保の問題もあり、向こう10年間は機械化しないと云っていた。

浙江景興紙業

次いで浙江平湖市の浙江景興紙業を訪問。着いたのが午後でトラックによる原料入荷は終わっていたので、ゆっくり工場内を見学することが出来た。ヤードにある段ボールのプレス物が総て日本からの輸入で驚いたが、よく見ると中国国内物はバラできちんと積んでシート掛けしてあった。

浙江景興紙業は日本製紙と日本紙パルプ商事

が5%程度資本参加している会社で、ライナーを年間30万トン生産している。また少し離れた所に製紙工場を建設中で、まだまだ中国は伸びる国だと実感した。

日本製紙と日本紙パルプ商事は、浙江景興日紙と言う製紙会社を浙江景興紙業グループと共同出資で別途設立し、段ボール原紙の生産をしている。

夜、海上レストランで上海蟹など中華料理を堪能。上海宿泊

11/22(水)

今日は観光日。市内観光組とゴルフ組に分かれる。

ピンハイ・ゴルフ場は上海プードン空港の南にある海岸沿いのコースで、アリソン・バンカーが沢山あるリンクス・タイプのゴルフ場でした。

観光組は豫園見学を楽しむ。

三弘紙業実務が明日69歳の誕生日を迎え、役員定年でもあるので夕食会の場でお祝いの行事を行った。上海宿泊

11/23(木)

ホテルを10時に出発して帰国。上海空港まで途中リニアカーに乗車。最高時速431kmを経験。(株)清水の社員がパスポートを無くした以外は問題なく無事帰国。

共同執筆者

(株)丸十・高橋／(有)黒田商事・黒田／(株)新井商店・新井／グリーンロジテック(株)・清水

集荷部からのお願

集荷部長 坂田秀一郎

組合の広報も前回で250号を達成した模様。歴代の広報関係者の皆様の大変な御努力の賜ものであり誠に感謝申し上げます。

この広報に集荷部の記事も少なからず毎回掲載されている。直納部が【N】とすれば集荷部は【S】なのだが、会議開催の度に強力な【N】に【S】は本当に情け無い状況を暴露してしまう。これでいいのだろうか？組合員の95%が【S】の筈で実際は【N】以上のパワーを秘めている。【S】の強力な力を私共代表に貸して欲しい。参加して頂きたい。集荷部の仕事は任せなければいんだ、では無く会議開催の折は萬難を排して出席して意見や情報を発表して頂けたらと常々思います。自分達の為なのだから後は強力な【S】を皆さんで創造して行きましよう。各支部の支部長さん又、集荷部の皆様、参加しても価値が無いなんて言わずに何卒よろしくお願い致します。

青年部と東京製本

二世連合会との懇談会

青年部 伊藤 滋

青年部と東京製本二世連合会との懇談会が1

2月4日に行われました。今年は例年とは趣向を変えて、東京製本二世連合会・一色製本株式会社原一平様幹事のもと、後樂園スパ・ラクア内、和風ダイニング酣(TAKEENAWA)にて温泉で汗を流してからスタートとなりました。19時30分の懇親会開始時間までに余裕のある方々は早めに来場し、露天風呂にゆっくり浸かって日頃の疲れを洗い流していたようです。また、湯上り後にはリラックストラウンジにてリクライニングチェアに身体をあずけ、ひと時の夢の世界に心を委ねていたようにも感じられました。集合時間が近づくにつれ会場には穏やかな表情が徐々にやってきました。普段のネクタイ姿とは違って、皆が同じ衣装(スパの着衣)をまとっている。それだけで、どこことなくうち溶け合っているような気さえするほどでした。

定刻になりました。工藤青年部長の乾杯の発生を皮切りに意見交換が始まりました。25名がそれぞれの立場で世界経済の動向、業界の現状、自社の展望等、積極的な主張が繰り広げられました。が、それも束の間。やがて時間の流れと程よい酔いにつられ、肩の緊張もほぐれるままに穏やかな交換会に移行していきました。会話の内容はいつしか仕事とは関係ないようなことのほうが多くなっていったように見受けられます。どのテーブルにも笑い声が響いています。大成功の懇談会でした。参加者の誰もがそう思ったに違いありません。目尻のしわがそれを証明していました。

時計の針は進んでいきます。やがて散会。それぞれに集まった面々はそれぞれに会場を後にしました。私も程よく酔ってしまいました。身体が暖を欲していました。そして、そのままバスに。そこにはわかにか懇親会の余韻を感じさせてくれる空間がありました。

本当に暖かさに包まれた一日を過ごす事が出来ました。少し塩辛い温泉の中で、友人との話らいの中で。

支部だより

城北支部

見学会及び忘年会

城北支部長 黒田 義孝

今回、城北支部では集荷業者の方で家庭紙の工場を見たことが無い人がいるとのことで埼玉県鳩ヶ谷市に有る鶴見製紙株式会社様をお願いをして12月2日に見学会を実施しました。

城北支部員24名、石橋集荷部副部長を始め大柴文京支部長・梨本さん、宮崎山手支部長、足立支部新井さん、夏目事務局長も参加いただきありがとうございました。

合計30名で会議室にて現社長・里和永一様から歓迎の挨拶を頂きました。鶴見製紙さんは昭和20年に横浜市鶴見区にて鶴見製紙を設立昭和32年に現鳩ヶ谷市に工場を新設、現在に至る。社長は初代里和義助氏、里和義雄氏、現社長の里和永一氏で三代目との事。

挨拶終了後、担当者の小林さんより生産工程の説明を受け工場見学に入る全工程を見学、1時間半位かかった。全員が原料屋なので原料置場。パルパーに興味があった様に思えた。特に鶴見製紙さんは3年前から個人情報保護法により機密書類などをダンボールに密封したままの状態で溶解している。ダンボールはパルパーで溶解してから繊維を分離回収しているとの事。機密書類は逆有償との事。当初は原料使用量の

30%位機密書類が入っていたが、現在は20%を切っているとの事。

現在のパルパー能力は日産160トンとの事、製品トイレットペーパーは柔らかさは業界トップクラスとの事。製品は日産能力10、000ケース。販売先はスーパー及び量販店などに直販している。又、トラック等

も自社便大型、中型20台以上を保持している。鶴見製紙さんは環境整備に力を入れている。社長自身8年以上トイレット掃除をやっているとの事。鶴見製紙さんの環境整備に関する方針をご紹介しますと「1、基本 2、整理 3、整頓 4、清潔 5、礼儀 6、規律 7、チェック」社員全員が取り組んでおり会社の中が綺麗に整理整頓されており見習う点が多く見られました。最後に質疑応答をして鶴見製紙の益々の繁栄を願って場所を忘年会場に移動する。

場所は鳩ヶ谷市内にあるしゃぶしゃぶ亭。私用があり6名の方がお帰りになり24名の参加。牛すきやき食べ放題、飲物も飲み放題。

皆川理事長の挨拶を頂き乾杯を石橋集荷部部長に頂く。今日はとても寒い日でしたので温かいすき焼きを美味しく頂き体が温まりました。5時に始まり7時までに皆さん和気あいあいと過ごされ親睦をはかれました。締めは本部監事の乗附さんに頂きお開きになりました。

今年の後半は原料が値上がりし皆さん多少潤ったのではないのでしょうか。来年ももっともと良くなる事を願って居ります。

城北支部 忘年会

於 しゃぶしゃぶ亭

文京支部

忘年会

文京支部長 大柴 和男

文京支部忘年会を12月8日(金)湯島切通し坂上、すき焼き「江知勝」で開催しました。幹事を(有)倉友紙業グリーンロジテック(株)、(株)近吟紙業の三社にお願ひしました。

司会を清水様、大柴支部長の挨拶、皆川理事長・坂田副理事長の挨拶、近藤副理事長の乾杯で開宴。お客様に宮崎山手支部長、黒田城北支部長、城北支部の乗附様、夏目事務局長、大同生命保険(株) 服部課長・斉藤様、あいおい損害保険(株) 代理店・近藤社長、支部員等総勢19名です。

肉を口へ、酒を口へ、会話を口から、楽しい時間が過ぎ多数のコンパニオンを傍にビンゴゲーム開始。今回の大当たりは組合の新事務局長・夏目様が当たったり。これからも組合、及び支部のためによりしくお願ひします。中締めを文京副支部長山田様にお願ひし、集合写真を撮って、お土産を手に帰路に着きました。幹事さん、ありがとうございました。

城南支部

忘年会

城南支部長 坂田 智

12月2日(土)に恒例の城南支部忘年会が芝、東京タワー下の豆腐屋「うかい」で行われました。ここは都心の真ん中を忘れさせる、すばらしい建物と広大な日本庭園を誇る豪華なところでした。

宴は、まず、支部長の挨拶、そして坂田副理事長の乾杯の後、2名のコンオパニオンと共に楽しく又、美味しい料理に舌鼓を打ちながら進みました。大同生命の斉藤さんと小川さんと支部員16名の合計18名で平松さんの名司会により宴は進み、中締めは井出社長にお願いしてお開きとなりました。

幹事の梶野さん、井出さんありがとうございました。新年会は2月に一泊で箱根に行く予定です。

台東支部

忘年会

台東支部長 高山 昭一郎

11月27日(月)定例会を兼ねた忘年会を行いました。前にも書いた事がありますが支部員の中で、夜はスナックを営んでいる方が居ました。月曜日が定休日なので御好意に甘え貸し切ります。

定例通り理事会報告を終え忘年会へと移り、長老、野村様の乾杯に始まり用意されたお寿司を初め、料理と各自好みの飲物をと和気あいあいと時間も過ぎ、カラオケとなり、あるカラオケ同好会の名誉会長であられる野村長老から口火を切られ、皆さん二曲づつ歌われたと思います。内でも若手二人の絶品の歌を聞かされ合同新年会台東支部代表に全員一致で決まりました。何方かは書きませんが新年会で披露出来ると思います。乞うご期待です。時間制限がないと言っても10時近くになりお開きとなりました。お互い来年も元気で又、良い年で有りますようにと声を掛け合いながら帰路に着きました。

世界遺産人気No.1 地球裏側の旅

城北支部 竹内 義人

大晦日31日の夜、成田発ロスアンゼルス行き、着後、夜中の2時にロス空港の人のあまりに暗い狭い椅子に坐り3時間あまりの元日を迎えた。これで12時間経つてしまいブラジル空港で一路サンパウロ空港に到着。そして2時間後、国内便にてフリバチ経由にてイグアス市へ。ここまで丸一日、24時間もかかり東京に居るなら今、寝ているのか？脳内時間がわからず疲れのせい或少しふらつきぎみです。

いよいよアンデス山脈から流れ出てブラジルアルゼンチン、パラグアイの3国境の其の中イグアスジャングにて276個の滝と成ります。

前年に行ったアメリカ・カナダ両国のナイアガラ瀑布の美しい景観とは違い、大小の色々な落差が有り南米のメタルブルーで美しい。空飛ぶブルーサファイアのモルフォ蝶、紅色インコ、1メートル近くのイグアストカゲが横切るジャングルを抜け夕方、唯一、国立公園内にあるホテルトロピカルダン・カタラス着。夕食はブラジル料理の肉の串さしシユラスコです、ウマイ。

翌朝、日本の反対側になるアルゼンチン国境へ、公園ゲートから出る屋根付きトロッコ電車に乗りイグアス滝。最高地点「悪魔のど笛」

に向けて建築工事で使われる鉄パイプ、小さい穴のあいた鉄板で組んである長さ1,000メートルの遊歩道を歩くと世界一の落水量を誇るグアルグアデアボロに到着。レインコートを着ても水しぶきで全員ビショヌレ。メインの大滝の先に少し飛び出しぎみの鉄パイプにしがみ付きながらの記念写真。眼下には七色の虹が二ヶ所に出ていました。ガイドの話では、すごい水しぶきのため満月の夜にはムーンライトレインボー（月光の虹）が見れるのだが夜アメリカライオンのオンサが出るジャングルには命がけで行く人はナシヨナルグラフィック社のカメラマンだけだそうです。

三日目は、サンパウロ市内シエラトシリマホテルへ。外国のクリスマスは、日本の正月過ぎまでネオン、イルミネーションで飾り付けられ市内のオフィス街は、その飾りを取り外すのにも賑やかでした。

四日目。ペルー航空でリマへ。1533年スペイン軍を率いてフランシス・ピサロが侵略インカ第11代皇帝ワイナカパックを殺し大量の黄金を略奪、後スペイン本国へ輸送した。そう言えばスペインの大聖堂の内部は、それは眩い程の黄金のカテドナル祭壇で輝いていました。それらは、このインカ帝国のゴールドを溶かし薄い箔にして教会を飾っていたとは何とも中世キリスト教徒の無残さを感じました。

五日目、3,400メートルのクスコ空港へ。世界遺産の町クスコは飛行機のタラップを降り

て、あわててバスへ駆け足で行くと、なんと空気酸素が薄く呼吸が難しい。ガイドが言うには、ゆっくり行動してください。ホテルにある酸素ボンベを吸って皆、やっと落ち着きました。現地の人はロビーのお茶置き場にあるココアの葉を食べると高山病が軽くなるとの事。ココアではなくココインの素となる葉っぱは持ち出し禁止。帰りのロスか成田の検疫で犬に吼えられ逮捕されます、注意

六日目、クスコの町からペルーレイル線の高山列車ピスタードームに乗車。日本のテレビ10チャンネル「世界の車窓」を見ていて今後は、この電車に乗りたいたいねと話していた電車で4時間あまり。高い山の登りはアプト式スイッチパックを繰り返して、途中の駅ではテレビで見た通り現地のおばちゃん線路内に入り車窓越しに売り込み、ジュータン飲料、大豆のトウモロコシ、よく酒のつまみに油で揚げたジャイアントコーンの生ゆでを買いつきり味で珍しい本物を食べて満足しました。駅前から乗り合いバスで、いろは坂のような山道を登り、いよいよ世界遺産人気NO.1のマチュピチュ空中都市遺跡へ。入口到着。世界中から人がいっぱい入場切符売場に集まっています。午前中は雨の中、40分位登りガイドの説明を聞き、わずか5kmの峰の頂上に石の建築物がびっしり。特にコンドル翼神殿はみごとです。ガイドは雲の具合を見て午後には晴れますの通り、雲が少しずつ引いていくのが見えカレンダーで見るマチュピ

チュ遺跡を眼下に。後方にはとんがった形のワ
イナピチュ山が見える最絶景で記念撮影。それ
にしても日本から40時間かける価値がありま
す。高山の霧が雲に変わり目のワイナピチュ
山に少し雲がかかり神々しい景色は「癒し」効
果バツグンです。帰りの駅に着き列車の待ち時
間があつたので買物。現地人の小さな店が百件
以上並んでいて恐竜の焼き物、インカ柄のナス
科の乾燥置物等々。お気に入りには古生代カンブ
リア期の三葉虫の完全体化石、中世代ジュラ期
のメノウ化したアンモナイトです。少し高いが
時間いっぱいまでデスカウント交渉してGE
T!

七日目はリマから2時間のナスカ空港です。
1500年頃、ナスカ文化期に誰が何のために、
今まで判らずに描かれた200体余りの地上絵
です。セスナ機で30分位、500m位大きい
巨大ハチドリ、サル、コンドル等、有名な15
体の絵を小さな窓からカメラのアンクル越しで
見ながらパチパチ。当然、飛行機酔い「帰りのバ
スはナスカ高原を横断しているアメリカンハイ
ウェイ、真っ直ぐ何キロも続く。地上絵のハイ
ウェイ道端でナスカ人が黒く焼けたナスカ石に
彫った小さなコンドル、ハチドリ等の絵を売っ
ているので皆さんお買い上げ。そして、岐路へ。

今回の南米は、バリブラジル航空が昨年12月
に倒産しましたが、正月元旦ツアーの予約がか
なり入ったので最後のフライトとして退職金が

わりに決行したのです。激安料金でしたが、そ
の分、飛行機は狭く古い機体でした。いつもは
高ビーな日本人スチワーデスも日本に着く2時
間前にはクルー達と泣きながら話をしていまし
た。後方の食事出入りスペースで泣きながらお
別れ写真を撮ってあげ少しウルルン滞在記でし
た。

お知らせ

〔1月会議・催事予定〕

- 5日(金) 事務局仕事始め
- 10日(水) 東京都中小企業団体中央会
賀詞交換会 (AM11)
- 赤坂プリンスII新館2F
「クリスタルパレス」
- 11日(木) 古紙センター賀詞交換会
(PM1:30)
- ホテルグランドパレス
- 15日(月) 午前 官公庁挨拶廻り、
午後 常任理事会 (PM2:30)
- 理事会 (PM4:00)
- 組合会議室
- 16日(火) 上野中金会賀詞交換会
(PM5:30) 上野東天紅
- 18日(木) 製本工組「新春のつどい」
(PM6:30) 椿山荘
- 18日(木) 関東商組新年会
(PM5時) H・ラングウッド
- 20日(土) 組合合同新年会日暮里駅前
(PM5:30受付PM6開宴)
H・ラングウッド
- 24日(水) 古紙センター関東地区
委員会 (PM4時)
- 新年会 (PM5:30)

25日(木) 古紙センター業務委員会

(PM1:30)

センター会議室

25日(木) 全原連新年会

(PM5時) 浅草ビューホテル

26日(金) 富士貨協荷主懇談会新年定例会

(PM3時) 講演会

(PM5時) 懇親会

フジロイヤルプラザH

30日(火) 古紙センター静岡地区

(PM4:30) 委員会

(PM5:30) 新年会

フジロイヤルプラザH

31日(水) 返本組合新年会

(PM6時) 上野精養軒

訃報

江墨支部 島田商店

代表者 島田 正一 様 (享年73)

平成18年11月6日逝去

台東支部 ノボル紙業

(代表者 近藤昌和様) のご尊父

近藤 登 様 (享年76)

平成18年11月14日逝去

台東支部 近藤作一商店

(代表者 近藤清司様) のご母堂

近藤ふさ子様 (享年83)

平成18年12月6日逝去

城北支部 太田紙興株

代表者 太田 傳治様 (享年75)

平成18年12月30日逝去

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4紙の標準売値〕

平成18年12月8日現在

* 新聞 7〜8円 (横這い)

* 雑誌 4〜5円 (下値上昇)

* 段ボール 5〜5.5円 (上昇)

* 色上(並) 3〜5円 (横這い)

関東商組の融通(共販)事業

〔平成19年1月度実施の共販価格(kg当り)〕

〔新 聞 古紙〕 休止

〔段ボール 古紙〕 休止

会議概要〔平成18年11月〕

11月度定例理事会

〔平成18年11月2日（木）〕

出席理事21名

於）組合会議室PM4時〜

皆川理事長挨拶

以前から駐車違反問題が議題に載っているが、なかなか見通しがたないでいる。東リ協会を通じて自民党へもお願いしていますので、結果がわかり次第ご報告をしたい。メーカーと懇親会を開いて話を聞く中で、現状がきわめて忙しくなってきた感じがする。価格の動き等が一部、なかなか表に出てこないでいるが、後程、各部からの報告があると思う。本日は年末に向けてよろしく願います。

〔各部報告〕

〔直納部〕

10月25日に静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会が行われ、翌日26日に特更メーカーとの懇親会（ゴルフコン。）が行われた。又、国内の家庭紙原料の価格が修正になったことを受けて海外との格差が広まったことから、31日に共販委員会を開催しました。ひと月ひと月、状況の変化が大きくなって行くと思うので、四半期に一度、共販委員会を開き今後の方針を決めることとした。輸出に限らず国内向けメ

ーカーへ振り向ける事を視野に入れ検討していくことを確認した。10月からの価格については、M商店との調整・検討をした。これを10月から12月まで実施し、来年1月からの分の価格に関しては12月に共販委員会を開き再検討したい。

中国海外研修については、予定していたAPP工場が火災のため見学不可になり、代わりに富陽地区の古紙の朝市、家庭紙メーカーに行く予定である。

市況について、9月に輸出については272,012トン前月比82%、前年比101.1%と昨年とほぼ同じ数量である。

品種別で昨年対比、段ボールが108.3%、新聞93.3%、雑誌85.9%。段ボールは延びているが新聞、雑誌が1割ほど減少している。原因は国内メーカーに引かれて

いる状況だと思う。関東商組の共販輸出の価格は店頭、11月で段ボールが12円60銭と12円34銭、新聞は15円20銭と15円11銭、雑誌は12円45銭と

輸出の価格が上昇している。

〔品種別市況報告〕

〔上白・特中白〕

上白・特中白は発生が少ないがメーカーの消費も少ないのでバランスがとれているように思われる。パルプの対日輸出価格は10ヶ月連続で上昇した。北米産LBKP、10月積み価格は前月比1

0\$高の1t 710\$で、ブラジル産LBKPは1t 630\$と3ヶ月連続の増であった。

〔家庭紙原料〕

25日に静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会を開き、産業古紙・オフィス古紙の説明をした。

静岡県製紙原料商業組合からは中国家庭紙の見学内容について話をしてもらった。洋紙のDIP増設・新設のために原料関係が非常に厳しくなってきたので、家庭紙原料は今後、波乱含みであると伝えてきた。

シュレッダー古紙の取扱いについても論議がされた。今回は家庭紙メーカーだけでなく洋紙の大手、板紙メーカー等が出席し有意義な会議であった。

〔切付〕 26日に特更原料部会親睦ゴルフコンペを行った。

〔切付〕

26日に特更原料部会親睦ゴルフコンペを行った。

〔新聞・雑誌〕

新聞は価格修正があり輸出が多く出ていることを聞いている。雑誌は国内で非常にバランスがとれている。

〔ダンボール〕

ダンボール価格は10円50銭から動かない中で値上げの話があり慎重になっている。古紙の入りが悪くない。

〔返本雑誌〕

11月1日から新聞等に連動して1円の値上がり。10月の発生は若干多かった。

〔オフィス古紙〕

オフィス古紙の発生は良くないが、これから12月にかけて良くなってくると思われる。価格的にも輸出と絡ん

でバランスがとれているように思われる。

〔集荷部〕 後継者問題については深刻である。

価格動向については、情報をつかみ集荷部の方に提供していくことが大事なのではないか。10・11月と発生が落ちているので心配をしている。仕入価格にバラツキがある。以上の意見が出た。

〔広報部〕 広報11月号の発送に向けて準備

をしている。11月15日頃に届く予定である。全原連の新しい名簿を同封し送付する。

〔事業部〕 来年の1月20日(土)に日暮里

「ラングウッド」で新年会を行う。参加費一人につき5,000円を頂きたいので賛同願いたい。(了承される)内容については11月13日の業務部・支部長会議で決めた。

フオークリフトの組合としての免許取得については、拘束時間・人数等の問題があり非常に難しい。情報提供をするので個人的に受けてもらいたい。

〔案内〕 三弘紙業(株) 宍戸常任理事が11月

で退社のため、新しく森山 亨取締役任入部長を紹介する。

〔その他〕 全原連IT推進委員会より全原連

のホームページに各組合の広報誌を掲載できることになった。

当組合の広報誌を掲載するか討議してほしい。実際に全原連のホームページに各組合の広報誌が掲載されてから再検討することによって意見がまとまる。

業務部長・支部長合同会議

〔平成18年11月13日(月)〕

出席委員 17名

於 組合会議室PM4時

業務部長会議

〔直納部〕

11月20日(月)〜23日に中国(上海)に3泊の研修に行く。メインは富陽の古紙の朝市、家庭紙メーカー、板紙メーカー(上海の途中)の見学を予定している。15名の参加。

12月12日(火)に直納部共販合同委員会を開く。(株)松本光春商店を招き来年1月〜3月の共販価格を協議する。終了後、忘年会を「金泉」で行う。

〔集荷部〕

10月28日に行われた集荷部委員会の内容報告。

〔広報部〕

11月の編集が済み、印刷の段階にきている。

15日頃のお届の予定である。

〔青年部〕

11月7日に幹事会を行い12月4日に東京製本二世連合会との懇親会を12月4日に開催することを決めた。

支部長会議

〔山手支部〕

11月20日(月)に支部会を開き価格修正に伴う対応・影響について話し合う。12月16日(土)に忘年会を行う。

〔城北支部〕

12月2日(土)に鶴見製紙見学を行い(支部から22名と他5名で27名の参加)終了後、忘年会(鳩ヶ谷市)を行う。

〔文京支部〕

12月8日(金)に忘年会を湯島で行う。支部会を開いた際の出席人数が少ないので人数集めに努力していきたい。

〔江墨支部〕

11月6日に島田商店が逝去される。支部会を11月24日、忘年会を12月20日に行う。

〔台東支部〕

11月27日に忘年会を行う。支部会の集まりが悪く7〜10名位である。

〔城南支部〕

船戸商店が9月末で廃業(組合は来年3月末まで)。12月2日に忘年会を行う。支部会は平均20社ほど集まるので他支部と比べると

多い方である。

〔足立支部〕

支部会は6社ほどの集まりである。12月は忙しいので忘年会はせず新年会を来年行う。

〔荒川支部〕

支部会の集まりは12名ほど。忘年会を12月9日に行う。12月21・22日に毎年行っている夜警を行う。新年会を1月6日に行う。

〔事業部関係〕

新年会について

①アトラクションについて

清水広報部長の奥様が音楽を行う。(ピアノ・テノール・ソプラノの3人で行う)

②開催日時について

1月20日(土) 日暮里駅前ホテル「ラングウッド」午後5時30分受付・午後6時開演

③司会・進行について

新井(足立) 支部長と藤井(荒川) 支部長で役割分担を決めて担当する。

④受付について

各支部長・青年部・事業部(山口・坂内)・夏日で担当する。胸章を用意する。

⑤招待客について

外部から3名を招待。他に顧問・相談役の4名の招待。

⑥会場・会費について

会場は中華で丸テーブルの支部ごと。会費は

1名5,000円。

⑦組合員向け案内

広報誌に同封し11月14日に発送。出席連絡は支部長宛。支部長が参加人数をまとめる。

古紙センター

関東地区委員会

(平成18年10月21日(火) PM2時)

於 古紙センター会議室

〔需要動向〕 06/10月

単位トン、()は対前年同月比、在庫

の()は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

仕入 87, 502 (109.8%)

出荷 88, 403 (110.5%)

在庫 7, 796 (78.2%)

〔雑誌〕

仕入 60, 657 (107.8%)

出荷 61, 147 (104.5%)

在庫 5, 964 (89.3%)

〔段ボール〕

仕入 137, 807 (105.1%)

出荷 137, 824 (105.1%)

在庫 10, 892 (94.0%)

〔関東静岡実績〕

〔新聞〕

入荷 232, 216 (98.6%)

消費 239, 760 (103.6%)

在庫 166, 111 (69.3%)

〔雑誌〕

入荷 127, 521 (96.7%)

消費 128, 110 (91.5%)

在庫 57, 377 (44.8%)

〔段ボール〕

入荷 310, 887 (102.1%)

消費 314, 967 (96.9%)

在庫 93, 623 (29.7%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕

新聞は10月の32社の発生・出荷状況は非常に良かった。全国的に見ると関東が延びすぎている感じがしなくもない。10月は消費関係があまり良くなかったのではないかと。

雑誌は好調にきているが新聞ほど落ち込んでいない。輸出量が減っている分、国内メーカーに入荷が増えていると考えられる。価格差を埋めながら国内メーカーの方へ引つ張られている。輸出货量は少し伸び悩んでいる。

〔段ボール〕仕入は前年に比べると3%ほど多い。メーカー側の需要が多いのは輸出が好調だと言っ以外に無いと思われる。9月は毎年、国慶の影響で輸出が少なくなるが、新聞・雑誌の輸出はオフアアが強過ぎる感じがする。

輸出の値段の格差は新聞・雑誌については広

がるばかりである。段ボールは入っては出て行く流れであり、どこもきわめて在庫が少ない状況である。

「メーカー側コメント」

新聞の在庫は前月と比べると7%ほど落ちた状態である。現在の在庫率は61・1%と落ち着いている。

10月はダンボールの各メーカー最盛期である。11月は生産の遅れが続いているが会社によつては減産しながら調整しているところもある。生産による日々の忙しさは差ほどではない。

○平成18年度集団回収感謝状交付の推薦に対し次の5団体が承認された。

- ①鎌取町長寿会（千葉県千葉市）
- ②東町区（千葉県成田市）
- ③米本団地自治会（千葉県八千代市）
- ④下矢切第二町会（千葉県松戸市）
- ⑤大洲子ども会（千葉県市川市）

紙センター

業務委員会

〔平成18年11月29日（水）〕

PM1時30分～

於）古紙再生促進センター

〔1〕段ボール・新聞・雑誌 平成19年1月～6月消費計画について

詳細につきましては、紙面の都合により割愛させていただきます。

〔2〕全国古紙の需給・市況動向〔H18年1

1月度報告

詳細につきましては、紙面の都合により割愛させていただきます。

〔3〕古紙品質認証制度研究会の活動報告について

〔4〕関東地区融通特別委員会の活動報告について

〔5〕古紙標準品質規格の一部改定について 現行の3に〔6〕「医療関係機関等において感染性廃棄物と接触した紙」が追加

〔6〕紙リサイクル経験者の登録について 4名が登録し承認される。

〔7〕集団回収実務団体への感謝状交付について、東北・中部・関東地区委員会より15の推薦団体が交付される。

〔8〕平成18年度リサイクルペーパーフェア、紙リサイクルセミナー開催結果

リサイクルペーパーフェア
長野県長野市 4,400人の参加
東京都葛飾区 15,600人が参加

〔9〕平成18年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者表彰について

（株）二見（神奈川）と共和紙料（株）の2社が受賞

全原連役員会

〔平成18年11月29日（水）〕

PM2時30分～

於）古紙再生促進センター

理事・監事56名：出席43名（内、委任出席13名） 欠席13名

〔1〕古紙再生促進センター関係

①古紙利用率向上推進委員会
（10月3日開催）

②紙リサイクルセミナー
（10月17日東京虎ノ門発明会館開催）

③紙リサイクル基礎調査委員会
（11月10日開催）

④業務委員会（11月29日開催）報告
（i）平成19年1月～6月

段ボール・新聞・雑誌の消費計画について
・段ボール

1月～3月 前年比 98.8%
4月～6月 前年比 100.2%
1～6月 99.5%

・新聞
1月～3月 前年比 105.4%
4月～6月 前年比 106.5%
1～6月 105.9%

・雑誌
1月～3月 前年比 104.3%
4月～6月 前年比 98.4%
1～6月 101.2%

（ii）古紙品質認証制度研究会の活動報告について

・平成18年度事業計画では古紙品質安定対策事業の主要事業として古紙品質認証に関する研究を行うことになった。平成19年度事業計画に「品質向上対策検討委員会（仮称）」を設置し、全原連制度との連携を図り推進する。

(iii) 関東地区融通特別委員会の活動報告について

・融通事業を来期より「品質安定対策事業（案）」として新たな形で発足する。

・数量については段ボール1,000トン、新聞1,000トンとする。

・新事業立上げに際し、関東地区だけではなく他の地域にも事業活動を推進する。

(案として) 関東500トン、中部250トン、近畿250トンとする。尚、各地区の了解を取る必要がある。

・価格は一定期間の固定価格とする（業務委員会での各地域の市況報告価格を採用）。

(iv) 「古紙標準品質規格」の一部改定について

・禁忌品A類の中に「(6) 医療関係機関等において感染性廃棄物と接触した紙」を追加する。

(v) 紙リサイクル経験者の登録について

・紙リサイクル経験者活用制度実施要領に基づき、4名の推薦・申請があり承認。

(vi) 集団回収実施団体への感謝状交付につ

いて

・東北地区委員会（5団体）、中部地区委員会（5団体）、関東地区委員会（5団体）

(vii) 平成18年度リサイクル・ペーパー・フェア、紙リサイクルセミナー開催結果

(viii) 平成18年度リデウス・リュース・リサイクル推進功労者等表彰について

・関東地区（株二見）近畿地区（共和紙料）の2社10月20日表彰式開催。

(ix) 1月度行事日程

・新年互例会 平成19年1月11日（木）13：30～ グランドパレス九段

・業務委員会 平成19年1月25日（木）13：30～ 古紙センター

(2) 段ボールリサイクル協議会（10月5日開催）。

・10月17日紙リサイクルセミナー発表検討他

・3R推進団体連合会共同ポスターの件（各傘下組合一部配布）

(3) 冬季の省エネルギー対策について経済産業省紙業生活用品課より協力要請。

(4) 正副理事長会（10月6日開催）

・30周年記念実行委員会設置。委員長に関東商組深田理事長選任。

(5) 総合運営委員会（10月6日開催）

(6) 全原連30周年記念実行委員会（第1回

10月27日開催）

・実施行事、宿泊、組合員参加費用補助等の概況説明及び参加予定者事前把握対応各単組で調査の上組合に報告。

・第2回実行委員会12月4日開催。

(7) 家庭紙メーカーへ「決済条件改善に関するお願い」文書発送（全国家庭紙メーカー158社へ発送）。

(8) 総務財務委員会（11月22日開催）

・10月度経理財務状況順調に推移 承認。

(9) 近代化推進事業関係

●需給委員会

①18年度の海外研修会はインドへ視察調査を予定していましたがニュージーランドの市況が変化あり、視察調査地を変更する。

②取引単位の推進（国内取引トン単位、販売先製紙メーカーに対し「トン」表示を仕入先は当面従来の「KG」表示とし、取引単位「トン」表示に関し関係先に正式に「お願い」文書提出する。

●IT推進委員会（10月4日開催）

①全原連・関東商組合同委員会を10月4日～5日京都市で開催。4日古紙再生促進センター堀川理事長の講演が開催される。

②榎今井 HPリンク申請認可承認。

●渉外広報委員会（11月13日開催）

①ロゴマーク公募38点、第一次審査で5点選出。総合運営委員会（12月6日開催）時、上程予定。

②30周年の歩み、リーフレット作成検討中。

●経営革新委員会（11月15日開催）

①全原連・関東商組合同委員会を11月15日～16日福岡市で開催。

②「古紙商品適格事業所認定制度」「古紙リサイクルアドバイザー認定制度」について、本制度の基本概念・目的・認証取得目標・認証基準レベル等を再度説明し各単組の理解を得ることを承認。

③適格事業所認定制度のキックオフは全原連総会時予定。

(10) その他

新年会平成19年1月25日(木)
17:00～ 浅草ビューホテル

古紙センター

静岡地区委員会

(平成18年11月30日(木))

11時30分～

於) フジロイヤルプラザホテル

出席者メーカー6名・業者16名・事務局3名

〔堀内委員長の挨拶から〕

紙の状況を見ると、印刷情報紙は1%増と再び前年を上回った。商業印刷用紙は引き続きチラシ・カタログ等、堅調な動きとなっている。段ボールは前年比1・2%の減。天候不順の影響

響が尾を引いているといえ、飲料、青果物を中心に低迷している。紙器用板紙は1・6%減で5ヶ月連続で前年を下回った。これは製紙連合会の数字からお伝えした。

昨日の業務委員会で、各地の間屋さんの報告があった。私は西の方は安定していると思つたが、中国国は新聞は11月に1円騰がつたが、それに伴い下値も1円騰がつてきていて9～12円と高値12円で買っているところもあるといい、かなり荒れているといえる。幸い静岡地区においては、高い話が出ていないので安心したが、皆さんの話し合いの中で下値を抑えていただき利益をとってもらいたいと思う。

紙バの状況(単位:千t)

①紙・板紙の生産、販売、在庫(10月)

	生産量	前年同月比	在庫量	出荷量
段原紙	820	98.03	810	43.5%
紙	98.8	357	43.5%	1,617
その他	1,642	101.5	1,617	95.0%
合計	99.88	2,095	78.3%	2,700

②古紙の入荷、消費、在庫(10月)

	生産量	前年同月比	在庫量	出荷量
古紙合計	1,393	99.5	1,437	101.5%
段ボール	99.4	667	692	102.1%
その他	97.5	250	102.1%	99.0

③輸出古紙

	1月	9月	合計	新聞	雑誌
段ボール	1,214	132	476	41	54
その他	498	45	272	41	54
合計	1,712	177	669	82	108

④関東商組の輸出価格 11月

	価格	建値	為替
(段ボール)	12.60	\$134	¥116.90
(新聞)	15.20	\$155	¥116.80
(雑誌)	2.45	\$133	¥117

〔市況動向〕

〔第一部会〕 上物古紙

上物古紙がどうなっているのかサツパリわかない状況にある。どういう古紙の流れになっているかが見えなくて、難しい状況になっている。産業古紙全般は、10・11月と本来ならば発生が多い時期であるが、入荷があまりよくない。年末にかけ増加しなければならぬ在庫が横這いの状態である。また、大手メーカーのDIP増産による買付が旺盛になっていることもありタイト感がある状況である。これは今後ますます強くなってくるであろう。

〔上白〕 輸入パルプの値上がりにより、若干値戻しがあつて、その関係か引き合いも若干強まっている。

〔特中白〕 メーカーの一時的な使用増もあつて、タイトな状況にある。

〔板紙・セント・色上〕 メーカーの消費に変化はないが、今後のDIPの増産を踏まえた買付けが旺盛で、月を追うごとにタイト感が強まっている。特に色上は9・10月の2回価格修正が入ったが、玉の取り合いが続ぎ、非常に不足している。

〔家庭紙・セント・込頁〕 家庭紙の値上げが未だに浸透していないということで、原料高の製品安となっていると聞いている。それに加え、洋紙メーカーでも家庭紙メーカーも買おうかという動きが出てきていて、非常にタイトな状況にある。

〔切付〕

家庭紙同様、洋紙メーカーが切付を買う話が出てきており、非常にタイトな状況にある。

上物古紙は、すべてにタイトな状況が続いていると思われる。

〔業者側コメント〕

第一部関係者の品種は全般にタイト感がある。発生は、例年であれば秋口から発生期になるのであるが、前年比で大分発生が落ちているのではないかと、いう実感を受けている。それに加え、洋紙向けの引き合い等で、家庭紙でも非常にタイトになっている。

上白・特中白・切付についても、発生減なのか、タイト感がある。

〔第二部会〕新聞・雑誌

〔新聞〕

輸出価格が11月は15・20円と高値で推移している。12月も引き続き高値が予想されているが、通関実績を見ると、9月度は新聞は今年最低の41,000tであり前年比93%となっている。その中で中国が約33,000tで、前月比16,000tの減となっている。10・11月は、未だ数字が出ていないが、高値で推移しているのが、大幅な増加が見込まれる。それに伴い、メーカーの在庫が減少傾向で推移するのではと思われる。こういう状況下ではあるが、静岡地区の新聞の発生・回

収については、大きな変動はないと思われる。

〔雑誌〕

輸出価格が11月は12・45円となっている。12月も引き続き、高値が予測されているので数量が伸びるのではないかと。メーカーは、入荷が計画比減で推移しており、在庫の切り崩し・配合変更が見られる。

静岡地区においては、依然として発生は悪く、数量が伸び悩んでいるように思われる。

〔業者側コメント〕

関東32社の10月の新聞古紙は仕入が前年比で109・8%、在庫率8・8%となっている。11月の輸出価格は155\$となっており、国内価格と大分開いたということで、1円値上げしていただいたが、その後も輸出価格は続伸しており、最近では160\$台、高値では163\$という話も出ており、国内メーカーとの乖離が更に広がっているようである。1~10月の32社の累計で見ると、入荷が109・4%、出荷が109・5%となっており、これは非常に高い水準であり実際にこんなに集まっているのかという疑問のある。これは32社の間のやり取りもダブって計上されているのではないかとと思われる。

雑誌の10月単価は、前年比入荷が107・8%、出荷が104・5%、在庫率9・

8%となっている。1～10月の累計では入荷が103・4%、出荷が103・3%でありいい数字ではないかと思われる。輸出価格は、11月の関東商組が133\$で、新聞同様に続伸しており、今では140\$台になっている。先日、中部地区での輸出価格が出たが、これによると143\$で円価にすると13・10円と13円台乗せとなっている。下値の高騰も大きな問題である。新聞であるが関東では某業者が12・50円で買っており、更に強気で集めていると聞き、頭の痛いところである。

「第三部会」段ボール

段原紙は生産・出荷とも前年を下回っている。その中で、10月の入荷は計画通りのところと、若干未納気味のところとあるが、在庫は、操短等もあり横這いで推移している。11月に入っても、入荷は前月に引き続き、そこそこである。富士地区では、工業用水の停止に伴う操短等もあり、在庫は横這いからプラスという状況と思われる。

「業者側コメント」

関東32社の10月単位は前年比入荷が105・1%、出荷も105・1%、在庫率7・9%となっており、三品の中では一番在庫率が低い。輸出価格は134\$、円価で12・60円であったが、中国の一部のメーカーの中には、日本の段ボール古紙は高すぎるので、欧州物に切り

替えるところもあると聞いている。新聞・雑誌と違い、輸出価格はやや弱含みで、現状では131～132\$と聞いている。ただ、中部では134\$、12・40円で決まっている。輸出は弱含みといっても、国内メーカーの引き合いが弱いということはなく量的な面で多くのメーカーが相変わらずといえる。

「質疑応答から」

Q(業)：内外価格差がますます広がってしまい、二重価格という問題がクローズアップされてくると思う。地の利ということだけで価格が決まってしまう。業者として、メーカーへの対応が難しくなってしまう。その中で、この二重価格の早期解決についてメーカーの意見をお聞きしたい。

A(メ)：二重価格については各社各様の取り組みをしているのかと思う。非常に難しく、かつ微妙な問題であり地区委員会の場でお答えすることは控えさせていただく。輸出価格との垂離が大きければ、入荷が厳しくなるので各社多少の是正は考えているであろう。表面的な数字も改定したほうがいいともいえるが、難しいとPころだ。二重・三重は好ましく無いと思う。

(事務局連絡)

*次回の地区委員会・活性化行事

1月30日(火) 地区委員会16:30

新年互礼会17:30

会議概要〔平成18年12月〕

12月度定例理事会

〔平成18年12月4日（月）〕

出席理事 26名

於 組合会議室PM4:00

皆川理事長挨拶

今年1年間無事に組合の運営ができた事に感謝致します。年初から古紙の価格の上昇があり、価格問題がブームの中で良い方向に動いていけばいいのだが、逆に大変な思いをしているところもあると聞いている。流れが非常にいいのだが、実になる商売になっていないところもあるので皆さんにおいてはどうか。ただ、流れないで止まったよりは、流れが良い方がはるかに良いので、今の流通の良い状態で新しい年を迎えられたらありがたいと思っている。

〔各部報告〕

〔総務部〕 三弘紙業の宍戸常任理事が11月に退社されたので変わりに三弘紙業の森山亮さんを常任理事として本部推薦したい。理事会での賛同により承認される。

〔直納部〕 11月に中国海外研修（上海・富陽地区）に行ってきた。全体的には松本光春商店様に案内をしていただいた。視察の内容については広報でお知らせをする。

12月12日に直納部・共販合同委員会を開き、現在行われている共販輸出の1月～3月の価格について討議する。

市況については、全体的に国内の洋紙メーカーが積極的に古紙を手当していることに加え、新聞・雑誌の輸出価格が10月～12月に急上昇してきて内外格差が一層広がり混乱した状況になっている。12月の関東商組の共販輸出価格については：段ボールは、1口2,000tで12円20銭、もう1口500tについても12円50銭、共販輸出振替分として1,000tあり12円30銭。新聞は、1,000tと共販輸出振替分とも15円90銭。雑誌は13円20銭で今月は段ボールより高い値段になっている。10月の古紙の輸出数量は、377,123tで前年比107.2%、1月～12月の累計3,234,435tで、あと2ヶ月で400万tに迫るペースで延びている。

〔品種別市況報告〕

〔上白・特中白〕 上白・特中白ともこのところ変化がなく上白の発生も少ないがメーカーの消費も少ないのでバランスがとれているように思われる。パルプは北米産LBKP、11月積み価格は1t、720\$と12月以降も強くしばらく逼迫していくと思われる。11月のブラジル産LBKPは

1とん630\$と10月と比べ横這いであった。

〔家庭紙原料〕 輸出にくわわっていて発生も非常に厳しい状況である。通常の家庭紙メーカーだけでなく大手も絡んできて今後3ヶ月ほどはこの展開状況にあると思う。

〔切付〕 洋紙メーカーが積極的に使用を始めているので不足感が強く競争が激しい。

〔新聞・雑誌〕 輸出高ですすんでおり国内も需要が順調で内外、共に引きが強い。仕入価格が先行しているので今後厳しい状況にあると思う。

〔ダンボール〕 ダンボールの輸出は横這い。引き合いは大変に強い。最近国内の生産も上がってきているのと国内の需要も出てきている。在庫は右から左の状態。

〔返本雑誌〕 10月は延びていて11月も昨年と同じくらいの延びである。ビニールコーティングされた雑誌が延びている状況。

〔オフィス古紙〕 オフィス古紙の発生は出足が悪い。輸出は、相変わらず好調である。

〔集荷部〕 集荷部会は今後の古紙の動向を見て開催する。忘年会、新年会の予定もない。集荷は順調だが多少値戻しがある状況。古紙の発生が減少しているしあまり儲かっている感じはない。多少値戻しが寄与した事が大きいと思う。これからも中国輸出の引き合いが強いので国内相場を牽引すると思

われる。家庭紙向けのケント、色上の発生が落ちているので、これから先、予断を許さないかと思う。私たち城南支部では、今のところ過当な仕入れ競争は聞いていない。各地区とも動きが少ない。まだ発生は多くない。

〔広報部〕 広報新年号の発行に向けて準備に入った。正副理事長には新年の挨拶をお願いしたい。中国研修については参加メンバーの若手の方に原稿を書いていただく。全部の支部の忘年会を特集したいので支部長は原稿の提出をお願いしたい。締め切りは12月25日(月)

〔事業部〕 合同新年会について、すでに組合員に対しては案内が届いているので今月の20日までに各支部で参加者をまとめていただく。今年の新年会開催事の出席者は、支部ごとで千代田8名・中央3名・文京11名・台東12名・荒川13名・足立6名・山手10名・城南10名・江墨12名・城北12名の合計組合員で100名の参加があった。来年は参加者1割アップを目標としているので支部長さんはよろしく願いをしたい。

来賓は6名を予定している。1月15日理事会終了後、打合せをする。カラオケは例年どおり青年部で担当をお願いする。

〔青年部〕 本日この後、東京製本工組と後楽園スパ・ラクアーク内「酣」にて懇親会を行う。

〔その他〕 ○理事長より環境省が提唱している「エコアクション21」の説明があった。ISOの国内版で人数が集まれば説明会を開くことが出来る。当組合で実施するかどうか各支部の意見を伺い継続審議とする。
○黒田城北支部長より12月2日の鶴見製紙(株)の会社見学と忘年会の報告があった。

直納部・共販合同委員会

〔平成18年12月12日(火)〕
出席理事 18名
於 組合会議室PM4時

皆川理事長挨拶

年末の忙しい時期にお集まりいただきありがとうございます。このところ古紙が、引つ張りだこの状況になってきている中で良いのか悪いのか。そんなことも含めてご意見をいただきたいと思えます。

1. 共販輸出価格について

M商店より：前回の会議でお知らせしたように中国以外で韓国から輸出についてオフアーカーがきている。内容的に良い状況なので、共販輸出

については11月分に遡って修正する。
変更事項：2006年11月・12月共販輸出価格
店頭渡しと船橋持込を修正

各社での負担分と組合助成金は、なしとしていただく。
2007年1月～3月についてはテストケースを見ながら検討中である。
後日(1月)に決定した結果をお知らせする。

2. その他、情報交換等

・中国研修旅行の結果報告について
・鶴見製紙会社見学(城北支部)について

静岡県紙業協会家庭紙部会と懇談会(臨時)

〔平成18年12月25日(月)午後2時〕
出席者 齊藤斗志二事務所会議室

静岡県紙業協会家庭紙部会 14名
静岡県製紙原料商業組合 7名
東京都製紙原料協同組合 9名
オプザバー 1名
三団体による家庭紙原料需要・今後の見通し等について話し合いが行われた。

広報部長 清水 弘允

「2006年10大ニュース」をインターネットで拾ってみました。①紀子さまが男子ご出産②トリノ五輪フィギュア荒川静香選手が「金」③WBC、王ジャパンが初代王者④小泉首相退陣と安倍内閣の発足⑤夏の甲子園、早稲田実業が初優勝⑥ライブドア事件で堀江社長逮捕⑦「いじめ苦」自殺相次ぐ⑧日本ハム、44年ぶり日本一⑨子供が犠牲の犯罪相次ぐ⑩飲酒運転による死亡事故と取締り強化

我々の身近なニュースとしては、駐車違反取締り強化、王子製紙による北越製紙へのTOBの試みなど記憶に新しい。

月並みな表現ながら、あつという間に一年が経ってしまった感がある。しかし振り返って見れば色々あったなと思う。

広報も、皆さんに原稿をお願いし締切に追われながら2ヶ月ごと発行していたら、瞬く間に1年が経ったとも言えるし、結構ながくて、しんどかったとも言える。

平成18年「今年の漢字」は「命」に決まった。京都市東山の清水寺貫主が特大の色紙に揮毫するので覚えている方も多いと思います。

確かに「2006年10大ニュース」を見ても、紀子さまのご出産、「いじめ苦」による自殺、子供が犠牲の殺人事件、飲酒運転による悲惨な死

亡事故など、「命」にかかわるニュースが多かった。

世界人口は現在65億6,000万人。1年間で1億4,000万人生まれて6,000万人死ぬのでプラス・マイナス8,000万人増加するそうです。この数字を見ると「命」など大した価値は無いとも言えるが、その1人が自分である事を考えると、やはり「命」は、かけがえの無いものだ。

今年もいろいろの事が起こるでしょうが、我々組合員の中では、出来るだけ良い事が起きますよう、そして建設的な楽しい記事で広報が飾れる事を祈っております。

そして皆さんの所に原稿依頼が舞い込んだら、「待ってました」と書いてくださいいね。

それが初夢。